

平成 18 年 (2006 年) 2 月那覇市議会定例会

個人質問発言通告書 (2 日目)

平成 18 年 3 月 2 日 (木)

※ 1 人当たり 15 分間 (答弁を除く)

順位	氏 名 (会派名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	上 里 直 司 (民主クラブ)	1 旧軍飛行場 用地問題につ いて	旧軍飛行場用地問題について、問題解決のため に迅速な対応が求められるが、以下の点について 伺う (1) 昨年 12 月定例会で提案された対策事業はい つ実施されるのか (2) 対策事業を含めて問題解決に向けた計画に ついて見解を伺う (3) 計画策定の中で県と那覇市の役割について 伺う
		2 教育行政に ついて	(1) 新年度から実施予定であった市立幼稚園に おける園長教諭制度は、急遽提案され、上程 前に急遽撤回された。この提案は非常に拙速 だったと思うが、その提案経過と撤回した理 由について伺う (2) 本市が導入しようとした園長教諭制度は全 国的に例があるのか

順位	氏 名 (会派名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(3) こどもみらい局の設置に伴い幼保の連携も具体的に進むものと予想される。具体的な連携内容について以下の点を伺う ① 幼稚園教諭と保育士の交流や研修の現状と計画について ② カリキュラム統一などの計画について
		3 パブリックコメントについて	昨年、パブリックコメント制度が本格実施されたが、制度の課題として、パブリックコメントを周知していくためにどのような対策をとろうとしているのか。また、寄せられた意見への回答期限の設定が必要かと思われるが見解を伺う
		4 外部評価について	外部評価がどのように予算編成に影響を与えたのか伺う。とりわけ、「支持されない」と評価された事業について見解を問う
		5 コミュニティースクールについて	本市において、コミュニティースクールの設置は検討されているのか。当局の見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、助役、教育長、関係部長

個人質問（2日目） 平成18年3月2日（木）

順位	氏 名 (会派名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	桑 江 豊 (公 明 党)	1 観光案内標識について	(1) 市内の国道・県道・市道における「観光案内標識」の設置状況 (2) 市内観光施設周辺の案内標識の整備について、今後の取り組み (3) 沖縄総合事務局が進めている「ローコスト観光案内標識整備」について認識しているか。また今後、この事業を取り入れる考えがあるか
		2 交通行政について	(1) 田原1丁目、金城1丁目・2丁目（田原11号を除く）全域市道に、道路標識（駐車禁止、速度、一時停止等）が1本も設置されていない現状を認識しているか。また、その理由は何か (2) 今後早急に設置するよう公安委員会へ要請すべきと考えるが、当局の見解を伺う
		3 消防行政について	施政方針の中で、「6月から義務化される新築住宅への火災警報器の普及活動に、地域住民とともに取り組む」とのことだが、具体的にどのように行うのか
		4 市税収入について	平成18年度一般会計当初予算の歳入の中で、市税収入が対前年比約4.8%増と、従来になく大幅な伸びを示しているが、その要因を伺いたい
			【答弁を求める者】 市長、関係部長

個人質問（２日目） 平成 18 年 3 月 2 日（木）

順位	氏 名 (会派名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	仲 村 家 治 (自民・無所属 連合)	1 平成 18 年度 予算について	(1) 平成 18 年度予算編成の特徴は (2) 三位一体の改革の影響について (3) 特徴的な事業及び新規事業について (4) 市民への広報活動について
		2 戦後処理問 題について	(1) 旧軍飛行場用地問題解決について (2) 不発弾処理の状況等について (3) 特殊地下壕対策事業の実施について
		3 特区申請に ついて	「なは I T 人材育成特区」認定申請について
			【答弁を求める者】 市長、助役、教育長、関係部長

個人質問（2日目） 平成18年3月2日（木）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
4	多和田 栄子 (社社連合)	1 教育行政について 2 「東横イン」不正改造問題について	二学期制導入について 2年間の試行期間が終わり平成18年度から二学期制が一斉に実施することになっている 次の三点について伺う (1) 二学期制導入については、保護者から不満の声が多い。2年間の試行期間を終え、どのような条件整備がされたか伺う (2) 教師においては、夏休み前に受験生への仮評価等を作成するため、今まで以上にゆとりがないと聞いている。その実態はどうか伺う (3) 保護者や地域への説明責任はどうなっているのか伺う 建築基準法、ハートビル法、福祉のまちづくり条例への違反等、利益主義で障害者を排除した悪質ともいえるべき行為は許されるものではない。ましてや、那覇市の行政責任も見逃せない。そこで、次の三点について伺う (1) 那覇市福祉のまちづくり条例に違反しているにもかかわらず、建築基準法の完了検査済証が発行されている。なぜか伺う

順位	氏 名 (会派名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 道路行政について	(2) 何のために福祉のまちづくり条例があるのか。趣旨、目的を問う (3) ハートビル法も含めて福祉のまちづくり条例への啓発活動は、今後どのように進めていくのか伺う 石嶺福祉センター線街路整備事業について 石嶺4丁目の社会福祉センターに通じる道路に7%の勾配ができ今までの道路より3m程高くなっている。地域住民は買い物や、バス停に行くのに迂回せざるを得ず、毎日の生活に不便を感じている。そこで次の三点について伺う (1) 石嶺福祉センター線街路整備事業(1工区)の進捗状況について伺う (2) 当初予定の階段が着工されていないのはなぜなのか伺う (3) 予定の階段は、いつ着工し、いつ完成できるのか伺う 【答弁を求める者】 市長、教育長、関係部長

順位	氏 名 (会派名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	古 堅 茂 治 (日本共産党)	1 米軍再編問題について 2 医療制度「改革」法案について	(1) 名護市辺野古沿岸への米軍新基地建設案には、県知事、名護市長、地元住民をはじめ、圧倒的県民が反対している。それでも、頭ごなし、問答無用に辺野古沿岸案を押しつけようとする横暴な小泉首相の態度は、県内新聞も社説で「県民を愚弄」と書いている 県都の市長として、沖縄県民として、この小泉首相の姿勢をどう思うか。見解を伺う (2) 防衛施設庁が各地の施設局の施設部長に、地方議会の動きを監視し、反対意見書の採択を阻止するよう電子メールで指示していたことが、わが党の志位和夫委員長に届けられた文書で明らかになり、政府も井上哲士衆議院議員の追及にメール存在を認めている 政府の誤った政策や方針に対し、住民を守る見地から反対し、批判するのは自治体と議会の責務であり、憲法でも保障されている 政府の言う通りにならないからといって、自治体と議会に介入・圧力をかける政府の態度は許せるものではない。この政府の行為への見解を伺う 小泉内閣は、医療費の伸びを抑えるとして、①高齢者、重症患者への情け容赦ない負担増、療養病床削減による病院からの追い出し、保険料引き上げ、②公的保険がきく範囲を切り詰めて、保険がきかない部分を大幅に拡大し、公的医療制度、国民皆保険の解体に大きく踏み出す内容の医療制度「改革」関連法案を国会に提出している この「改革」に、日本医師会、日本看護協会、日本薬剤師会など38団体でつくる国民医療推進協議会も、高齢者や患者の負担増に反対し、国民皆保険制度を守る立場で1718万人余の署名を集めるなど、多くの国民、医療・患者団体などから反対

順位	氏 名 (会派名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 市民の健康増進について	の声があがっている。高知県議会も、全会一致で意見書をあげている。市民に大きな負担を強いる今回の医療制度「改革」関連法案に、市長も反対すべきではないか。見解を伺う (1) 県内の30代以上で、肥満と診断された人の割合は男性46.9%、女性26.1%、男女ともワースト全国一位となり、県民に衝撃を与えている。これまでも、男の平均寿命が5位から26位に下がり、さらに悪化すると指摘されている。まさに長寿の島の危機。市民の健康を守るために、肥満対策、食と運動の啓蒙、健康増進への施策の強化が急いで求められている。対策を問う (2) 親・子・孫の3世代が一緒にプレーできるスポーツ・パークゴルフが、健康増進、リハビリやストレス解消の健康保持、老人医療費の抑制、コミュニケーション、観光ツアーの誘致などの相乗効果を生んでいる ① 全国・県内の競技人口とコース数、県内での大会開催の現状、効用を問う ② 発祥の地である北海道を中心にして、ツアーなどで来県しプレーする方が増えている。その現状を問う ③ 健康を守るためにも、介護予防のためにも、コミュニケーション、新たな観光資源としても、本市に大会ができる公認のスポーツ施設・パークゴルフ場が必要と考えるが、見解を伺う

順位	氏 名 (会派名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 市の契約における適正な賃金確保について	(1) 最低賃金法の目的と、沖縄の最低賃金、市の契約での賃金の積算単価を問う (2) 本員が調査した結果の範囲でも、市が委託している施設の常駐警備で、入札予定価格や契約額では、配置される労働者の適正賃金が確保できない事例がいくつもある 委託警備の労働者の賃金は、法で守られるべき最低賃金以上となっているか 市は入札、契約の際に、適正賃金の確保や労働者を守るために、どのような対策をとっているのか
		5 モノレールの延長について	延長・延伸の定義を問う。市当局が本議会答弁で明らかにしたように、モノレール延長を想定した市道・石嶺線の拡幅整備が進んでいる。それ以外にも、当初計画に沿って整備を進めているものの進捗状況を問う
			【答弁を求める者】 市長、助役、教育長、関係部長

個人質問（2日目） 平成18年3月2日（木）

順位	氏 名 (会派名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	喜舎場 盛三 (公明党)	1 児童虐待について 2 教育行政について	(1) 本市における児童虐待の現状を伺う (2) 那覇市要保護児童対策地域協議会と虐待防止ネットワークとの違いを伺う (3) 児童虐待の予防、早期発見の視点からの取り組みを伺う (4) 育児支援家庭訪問事業の実績を伺う (1) 特別支援教育について ① 特別支援教育や発達障害に関して教職員の校内研修の取り組みを伺う ② 医療や福祉などの地域の関係機関と連携している小中学校は、どのくらいあるのか (2) 中1ギャップについて ① 中1ギャップとは、どういうものか伺う ② 中1ギャップ解消のための取り組みを伺う

順位	氏 名 (会派名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
			(3) 子どもの携帯電話について ① 小中学生で携帯電話を所持している割合 ② 携帯電話は、使用によっては子どもたちを危険に落とし入れることもあるが、その使用については本来家庭の責任である。しかし、学校でもその使用についての教育指導が必要になってきているのではないか (4) 小中学校の食教育について伺う
		3 道路行政について	(1) 沖縄工業高校正門前を通り、繁多川へ登っていく道路と、金城ダム通りから来る道路が県営繁多側住宅入口前で交差している。この交差点は、朝夕の車の抜け道になっており、かなり危険である。信号機設置等何らかの安全対策が必要である (2) 繁多川2丁目の防災道路の進捗状況を伺う
			【答弁を求める者】 市長、助役、関係部長

個人質問（２日目） 平成18年3月2日（木）

順位	氏 名 (会派名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	永 山 盛 廣 (自民・無所属 連合)	1 成人式について 2 道路行政について 3 都市計画行政について	成人式の評価と視点について (1) 地域開催の運営とその取り組みについて伺う (2) 運営組織と新成人は、どのような関わりをしているか (3) 地域開催の成果と課題は、どのようなものであるか 市道古蔵中央通り（3丁目・4丁目）の道路改良について 該通りは商店街であるが、車道・歩道の段差が高く、停車帯もない。歩道は荒れ、凸凹が多く、高齢者にとって危険な状態にある。地域住民は道路改良事業を進めて欲しいと望んでいるが、当局の考えを聞かせていただきたい 都市計画古波蔵上線について この都市計画古波蔵上線については、再三質問してきたが、現在の進捗状況を聞かせていただきたい 【答弁を求める者】 市長、助役、教育長、関係部長

個人質問（2日目） 平成18年3月2日（木）

順位	氏 名 (会派名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	比嘉 憲次郎 (社社連合)	1 市政運営の 基本姿勢 2 障害者自立 支援法につい て 3 道路行政に ついて	平和と国際交流－在日米軍再編協議について (1) 米軍再編最終報告書が出る前に、硫黄島訪問の結果をどのような形であらわすか伺う (2) 普天間移設案として、現行案、キャンプシュワブ沿岸案、浅瀬案があるが、それぞれの案に対する賛否を伺う 障害者自立支援法が4月から施行されるが、 (1) 制度の周知徹底は、どのようにするか伺う (2) 障害者が生活サービスを利用した際の負担を定めた同法に対し、市独自に負担軽減策を導入する予定はないかどうか伺う (3) 介護給付費等の支給決定の際に、当事者の意見を反映させるシステムをつくるかどうか伺う (4) 地域生活支援事業に関する取り組みについて伺う 国道330号と真嘉比古島線の交差点の変更(右折及び直進)について (1) 真嘉比古島線から国道330号に向けての右折・直進取付道路工事費用の予算化は、いつ頃を予定しているのか

順位	氏 名 (会派名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 耐震強度偽装問題について	(2) 国道 330 号と真嘉比古島線の交差点の変更は南部土木事務所との調整が必要と思われるが、いつ調整に入り開通の予定はいつか伺う 本市に、構造計算を専門とする職員を配置すべきだと考えるが見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、助役、関係部長

個人質問（2日目） 平成18年3月2日（木）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
9	糸数昌洋 (公明党)	1 行政改革について 2 教育行政について	(1) 職員の意識改革の現状について ① この5年間で職員の意識は、どのように変化したか、当局の見解を伺う ② 「那覇市改革に関する職員アンケート」の再実施について (2) 人事評価システムの構築について ① アクションプランでの総括はどうなっているか ② 多面評価の実施状況について ③ 第2次アクションプランにおける課題について 那覇市立学校適正配置基本方針（素案）について、市民意見を求めるパブリックコメントが実施された (1) パブリックコメントにおける市民意見の集約結果について (2) 集約結果について公表すべきと考えるが、当局の見解を伺う (3) 市民意見への対応と今後のスケジュールについて

順位	氏 名 (会派名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 廃屋対策について	空き家となり家主の管理が行われないまま廃墟と化した家屋は、地域住民にとって安全面・環境面からも悩みの種となっている (1) 市内の廃屋の現状と市民からの苦情相談の状況について (2) 安全面・環境面から、どのように対応しているか (3) 家主が対応できない場合、どのように対処するか
			【答弁を求める者】 市長、助役、教育長、関係部長